

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

エネルギーの安定供給、安全確保と地球環境保全、ステークホルダーとの共存共栄、働きがいのある職場の実現

省エネルギー量
15,000kL-coe/年

CO2削減率
20%以上

営業利益
100億円

ROE
10%以上

2 中長期の経営戦略

1. 石油精製事業の基盤強化

稼働信頼性維持とコスト競争力強化。ドローン点検、デジタルツイン、AI異常予兆検知の導入推進。2025年度に高オクタン価ガソリン装置と軽油水素化脱硫装置の能力増強工事を予定

3. 脱炭素ビジネスの追求

次世代バイオ燃料、CO2フリー水素、合成燃料を積極的に追求。SAF供給検討で国内初の輸入ニートSAF混合実施。SAF製造プラント建設は建設費増加で中止も、SAF供給検討は継続

2. 製油所の低炭素化推進

省エネルギーを最優先にCO2削減。アンモニア混焼を安定運用。2025年度にNo.1 FCC省エネルギー改造工事を予定

4. 経営基盤の効率化

組織横断的なコスト削減タスクフォース組成。原料調達最適化、修繕工事絞り込み、本社移転と組織改編による人財・組織面の強化

3 対処すべき課題

① 石油需要の中長期的喪失

- ・新興国での大型製油所新增設による競争激化対策
- ・EV普及・バイオ燃料・水素転換による石油需要減少への対応

② 脱炭素社会への適応

- ・2050年カーボンニュートラル実現向け、次世代技術開発と事業化を推進
- ・SAF・CO2フリー水素など脱炭素技術の実用化と供給体制構築

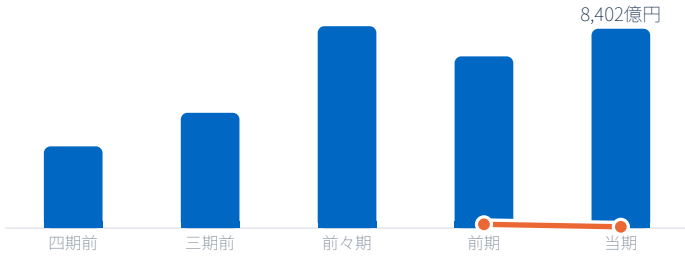
③ 事業環境の急速な変化対応

- ・地政学的リスク、資源価格・為替相場大幅変動への対応
- ・出光興産との資本業務提携による協業深化の影響評価と次期中期計画策定

面接で使えるポイント

- ・袖ヶ浦製油所の立地優位性・高度な設備能力と強固な顧客基盤を活かしたエネルギー安定供給の使命
- ・2050年カーボンニュートラル実現に向けたSAF・水素などの脱炭素ビジネス推進。国内初の輸入ニートSAF混合実績を持つ
- ・デジタルツイン・AI異常予兆検知・ドローン点検など先端技術を駆使した製油所運営の高度化と競争力強化

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
8,402億円営業利益率
▲0.7%財務健康度
8点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
766万円平均年齢
42.5歳平均勤続
19.7年女性管理職
1.9%男性育休
50.0%

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

